大阪は‘まち’がほんまにおもしろい

大阪あそ歩 OSAKA ASOBO®

大坂を作った男たち・加賀屋四代の開発魂
～高砂神社から新田会所跡まで～

かつて紀州街道の西側は海でした。しかし宝永元年(1704)に新大和川が付け替えられたことで土地の開発が進み、両替商・加賀屋甚兵衛も当地の新田開発に力をそそぎました。こうした民間資本による開発の総面積は、今日の大阪市域のほぼ1/3にあたると言われています。開発のために作られた新田会所跡は豪商・加賀屋の粋人ぶりが窺える、貴重な歴史的文化遺産で、都市の「やすらぎの館」となっています。

① 西住之江の町家

元々、この地は、島村といわれる農地でしたが、地主によって区割整地をして、住宅を誘致しました。その完成碑が昭和11年(1936)に建立されています。戦災にも遭わなかったので、現在でもモダンでハイセンスな洋風長屋、和風長屋の町家が立ち並んでいます。

② 十三間川せせらぎ

新大和川以降、奈良への輸送に鉄道が出来るまでは、水上交通の河川として使用され、剣先船が運航していました。剣先船は15～20石積で、全長約17.5メートルほどといわれています。昭和45年(1970)、阪神高速道路工事にともなって川は埋め立てられましたが、昭和58年(1983)に遊歩道として完成し、人と水のふれあう憩いの場となりました。

③ 大和川(新大和川)

元禄時代、平和で安定した時代となると人口が増加し、里山が開発され、自然環境が破壊されたために、長雨や豪雨によって地すべり・崖くずれなどがおこり、旧大和川にはその土砂が堆積して、洪水が頻繁に発生しました。そのため、河内国今米村の庄屋・中甚兵衛らは幕府へ大和川の付け替えを願い出て、宝永元年(1704)に柏原市築留から堺のほうに西流する人工の川が完成しました。当時は現在の国道26号線から西側はすべて海でした。

④ 龍護山 祐貞寺

浄土真宗本願寺派の寺院で、ご本尊は阿弥陀如来です。堺の商人・小山屋久兵衛の子の法名が寺名となっています。宝暦5年(1755)に僧樸師によって開基して以後、明治の中頃までは空華派の学僧が往来する念仏道場でした。歌人・与謝野鉄幹(1873～1935)は少年時代の明治20年(1887)、14歳までこの道場にて学びました。

⑤ 高砂神社

元文2年(1737)に北島新田に加賀屋甚兵衛が天水分大神を勧請したのが起こりで、その後、小山屋久兵衛によって宝暦11年(1761)に社殿の造営を行い、柿本人麿神を祀りました。天保6年(1835)に火災で社殿を焼失しますが、翌年に住吉大神を祀って再建して、以後、村社として守られてきました。住之江区内唯一の大阪市指定保存樹のクスノキがある鎮守の森で、平成16年(2004)には、大和川付け替え300周年記念として獅子神輿が奉納されました。

⑥ 南加賀屋の町家

虫籠窓のある長屋や、6軒長屋等の街並みが窺えます。この地域より西の方面では、かつては金時人参の畑でしたが、昭和30年代に入ると、都市化と南港の開発が進み、この地区も区画整理が行われ、金時人参畑は消えてしまいました。

⑦ 高崎神社

ご祭神は天之水分大神・天照皇大神・柿本人麿大神です。宝暦5年(1755)に、初代・加賀屋(桜井)甚兵衛によって創建され、3代目の時に当地に移され、天照皇大神・柿本人麿大神を合祀したと伝わっています。文久3年(1863)に火災にあいましたが、慶応元年(1865)に再改築されました。平成16年(2004)に大和川付け替え300周年記念として布団太鼓を新しく修復しています。

⑧ 加賀屋緑地(加賀屋新田会所跡)

加賀屋地域は、延享2年(1745)、加賀屋甚兵衛によって開発されたもので、新田開発は、その後数回にわけて北方面に拡張されました。民間資力による開発事業は、幕府の崩壊で終了しましたが、その開発総面積は、今日の大阪市域のほぼ1/3にあたると言われています。加賀屋緑地は江戸時代中期、宝暦4年(1754)に、匠の技の粋と木材・財をおしまずに造られた加賀屋新田会所跡を整備したものです。緑地内には大正3年(1914)に学者・西村天因が「愉園」と命名した遠州風築山林泉式庭園や、文化12年(1815)に建築された茶室「鳳鳴亭」など、豪商・加賀屋の粋人ぶりが窺える、貴重な歴史的文化遺産があります。四季を通じて豊かな緑や花々の表情を愉しむことができます。平成13年(2001)には大阪市有形文化財、緑地保全地区第1号の指定を受けて、「日本の歴史公園100選」にも選ばれました。

【注意事項】この地図は「大阪あそ歩」のまち歩きの資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴を着用してください。車などによく注意し、各自で責任をもって行動してください。また、住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。

【お問い合わせ】大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会「大阪あそ歩」事務局　電話06-6282-5930(財団法人大阪観光コンベンション協会内)「大阪あそ歩」の詳しいプログラムはホームページをご覧ください。　http://www.osaka-asobo.jp　または　大阪あそ歩　でネット検索を。

大阪あそ歩のコースは約2～3km、2～3時間程度を基準として作成されています。